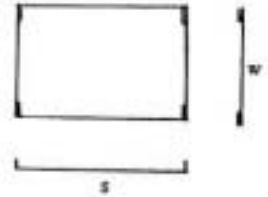


## 6. ダクトの組立とその順序

一般には、ダクトが受けアングル或いは架台に乗る場合に、ダクトコーナーのはぜがダクトの補強と考えられて、ダクトの側面板（つま板）のはぜはダブルはぜ（W）で折られ、上下板（平地板）はシングルはぜ（S）で折られる。

はぜは曲げられる面（例、内アール板、外アール板）はWで折られるので、エルボ等の立上り、立下り分はSになる。



### (1) アングルフランジダクトの組立て

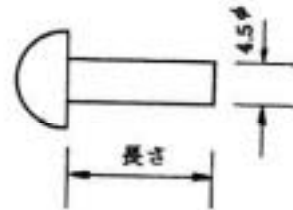
ダクト4面のはぜの組立て後のフランジかしめは、リベッターでリベットかしめを行なう。リベットと等間隔であれば、スポット溶接でもよい。

リベットは直径4.5mm

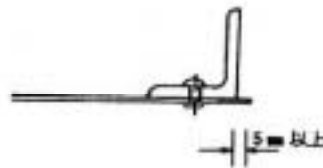
ダクト板厚1.0mm以下の場合には長さ8mm

＊ 1.2mmの場合には 長さ10mm

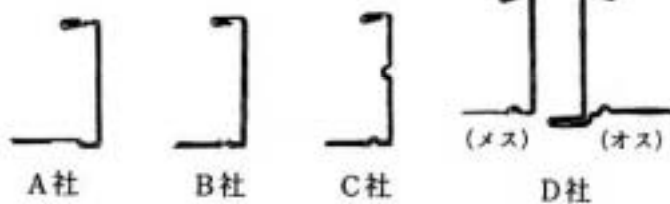
のものを使用する。



### ○折り返し部



### (2) 共板ダクトフランジ形状



### スライドフランジ



### クリップ



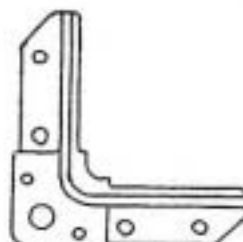
Lクリップ補強付



Cクリップ



ボルトクリップ



コーナーピースは亜鉛鉄板製で厚さは1.2mm以上、ただし、ダクトの長辺が1,200mmを超えたものには1.6mm以上とする。